



副住職が御詠歌教師に

壇信徒の皆様へ

副住職 若松慶隆

取得しましたことを、ここで壇信徒の皆様にご報告致します。

まず御詠歌のことはさて置き、1ヶ月間寺を抜けると言ふことは住職・母親等周囲への負担も掛けることです。またその間には親しくして頂いていた壇信徒さんが数人亡くなり、通夜・葬儀に顔を出すことも出来ませんでした。

高野山修行は周囲との連絡も取れないので、帰ってきて知った時の悲しみは大きかったです。

しかし、仲間や達成感など何物にも代え難い、得た物が多くあります。

この修行は13名による缶詰状態の共同生活であり、みんなが同じベクトルに向いて切磋琢磨、楽しいことも辛いことも共有し、よい人脈が築けました。何せ金剛講に入門したのがこの修行直前の初心者でしたから、最初は皆についていくことだけに必死でした。先生から冷たくあしらわれたこともあります。でも、最後の方はうがいをすれば痰に血が混じっている状態まで自分なりに精進し、2階級特進で修了出来ました。

修行を終えて帰り際、あしらわれた先生にあいさつをした時のこと。

「○○先生お世話になりました。最初僕のこと嫌いでしたか（笑）？」と言ってみると、

「いやいやそんなことはないけど（笑）、初心者には手を焼くからね。だけど若松君は見違えたよ。びっくりした。本当に食らい付いてきたね。今後も期待してるから、また会った時はよろしくな」と肩を叩かれて、全ての苦労が吹き飛び、感無量でした。

ここで得たものは壇信徒の皆様にも還元したいものです。数百曲もの御詠歌がありますが、年忌法要やお通夜の際には、その状況や故人に相応しい御詠歌を1曲選んで奉詠させて頂いております。御詠歌は人の心にストレートに響く素晴らしいものです。皆様の反応を見る限り、今のところ好感触を得ていますので今後もこれを続けて参りたいと思います。

また、高野山金剛講朝日寺支部として朝日寺御詠歌隊の活動があります。

現在は月2回ほど定例の練習会と年中行事での奉詠をやっております。

高野山から下山以来、私も加わらせて頂いておりますが、この朝日寺支部を今後どのような方向性へ持っていくかはまだ考え中でございます。現メンバー内外問わず、大会目指してバリバリ練習したい方・寺の行事等で一緒に奉詠してみたい方・純粋に御詠歌を楽しみたい方・個人的に御詠歌を少し習ってみたい方……いろいろなニーズがあることでしょう。まずは御詠歌を少しでも習ってみたいなど興味のある方がおられましたら、私副住職までお気軽にご相談下さい。いろんな意見を聞きつつ、各ニーズをきちんと満たせる形で少しでも御詠歌をお伝えできたらと思います。

それでは相互礼拝・相互供養の精神で、皆様の今年一年のご多幸を祈念しまして、私のあいさつを終わらせて頂きます。ありがとうございました。
合掌



去る10月末、高野山での御詠歌青年教師養成講習の全過程を修了し、詠歌教師としてのスタートラインに立ちました。

この度、高野山で都合1ヶ月に亘る修行を終え、御詠歌の教師資格（一般の方に指導できる資格）を

取得しましたことを、ここで壇信徒の皆様にご報告致します。

まず御詠歌のことはさて置き、1ヶ月間寺を抜けると言ふことは住職・母親等周囲への負担も掛けることです。またその間には親しくして頂いていた壇信徒さんが数人亡くなり、通夜・葬儀に顔を出すことも出来ませんでした。

高野山修行は周囲との連絡も取れないので、帰ってきて知った時の悲しみは大きかったです。

しかし、仲間や達成感など何物にも代え難い、得た物が多くあります。

この修行は13名による缶詰状態の共同生活であり、みんなが同じベクトルに向いて切磋琢磨、楽しいことも辛いことも共有し、よい人脈が築けました。何せ金剛講に入門したのがこの修行直前の初心者でしたから、最初は皆についていくことだけに必死でした。先生から冷たくあしらわれたこともあります。でも、最後の方はうがいをすれば痰に血が混じっている状態まで自分なりに精進し、2階級特進で修了出来ました。

修行を終えて帰り際、あしらわれた先生にあいさつをした時のこと。

「○○先生お世話になりました。最初僕のこと嫌いでしたか（笑）？」と言ってみると、

平成23年・年忌のご案内

今年の年忌は以下の通りです。

回忌	没年
一周忌	平成22年(2010年)
三回忌	平成21年(2009年)
七回忌	平成17年(2005年)
十三回忌	平成11年(1999年)
十七回忌	平成7年(1995年)
二十五回忌	昭和62年(1987年)
三十三回忌	昭和54年(1979年)
五十回忌	昭和37年(1962年)

土日祝日は混み合うことがございますので、法事をされる方はお早めにご連絡下さい。

2011年 主な年中行事の予定

日 に ち	行 事	内 容 や 備 考
2月3日(木) 正午～	せつ 節 ぶん え 会	新年の願い事を書いたらうそくを前にした祈願法会と、豆まきや食事会、そして恒例の福引きがあります。 参加希望者は1月25日までに地区総代または朝日寺までお申し込み下さい。(1名2千円です。)
5月8日(日) 午前10時～	第5回薬師如來祈願法会 (花まつり)	お釈迦様の誕生日をお祝いします。また、徐々に近づいてくる薬師如來の開帳をみんなで元気に迎えましょう。《参加は無料》 ※今年は日曜開催です。お子様にも配慮した内容を予定していますので、ぜひお子様連れでお参り下さい。
7月18日 (月・海の日) 午前9時～	よみあげ (投げ銭供養)	戦没者および初盆を迎える新仏を追悼する法要で、非常に珍しい形態をとる朝日寺の伝統行事です。該当される方には6月ごろに詳細な案内を送付致します。
8月15日(月) 午後8時～	水まつり	お盆の精靈送り行事です。持ち寄った提灯を吊り、精靈棚(しょうろうだな)に置かれた塔婆にみんなで水をかけてご先祖の靈をお送りします。
秋(日程未定)	日帰り寺めぐりツアー	県内や近県各地のお寺にバスでお参りします。(夏ごろ詳細確定予定)
平成26年	やくしによらいかいちょう 薬師如來開帳	朝日寺の本尊薬師如來像は秘仏として普段は扉が閉じられています。 その扉は33年に一度だけ開くことになっており、開帳大法会を予定しています。

開帳まで
あと3年!